

令和 5 年

予算審査特別委員会記録

令和 5 年 3 月 2 0 日

東伊豆町議会

予算審査特別委員会（第4日目）記録

令和5年3月20日（月）午前9時30分開会

出席委員（12名）

1番	楠山節雄君	2番	笠井政明君
3番	稲葉義仁君	5番	栗原京子君
6番	西塚孝男君	7番	須佐衛君
8番	村木脩君	10番	内山愼一君
11番	藤井廣明君	12番	鈴木勉君
13番	定居利子君	14番	山田直志君

欠席委員（なし）

その他出席者（なし）

議会事務局

議会事務局長 福岡俊裕君 書記 榊原大太君

開会 午前 9時30分

○委員長（藤井廣明君） それでは、定刻となりましたので、開始したいと思います。

ただいまの出席議員は12名で、委員定数の半数に達しております。よって、予算審査特別委員会は成立しましたので、開会します。

これより直ちに本日の会議を開きます。

本日の議題は、予算審査に伴う委員長報告書及び附帯決議の検討についてです。

暫時休憩します。

休憩 午前 9時30分

再開 午前 9時55分

○委員長（藤井廣明君） 休憩を閉じ再開します。

報告書について、訂正及び追加等ありませんか。

○1番（楠山節雄君） 2点ほど、考え方も含めて聞きたいんですけども、7ページの給食センターの関係で、ちょっと値上げを考えているかみたいな質問だったと思うんですけども、ここについては、給食費については極力、創意工夫をして保護者の負担を抑えたいという考えの中で、値上げは考えていないというふうな、値上げはしないというふうな答弁をいただいたと思うんですけども、その辺を入れたほうがいいのではないのかなと思いますけれども、そこの考え方をちょっと聞きたいのと、それから、7ページの上のほうの防災の関係ですけども、私、町の負担、人件費と消防に係る経費が今後どのようなようになっていくのか、今後の負担の在り方みたいなものを聞いたと思うんですけども、その辺がここの中に出てきていないんですけども、その辺、載せなかった理由というんですかね、考え方、そこはそれほど重要ではない部分かなということだったのか、その2点をお願いできればと思います。

○委員長（藤井廣明君） 暫時休憩します。

休憩 午前 9時57分

再開 午前10時02分

○委員長（藤井廣明君） それでは、休憩を閉じ再開いたします。

ただいまの質問についてお答えいたします。

学校給食センターの運営経費に関してお尋ねがあったかと思うんですけども、その委員報酬について、光熱費等が高騰する中で、給食費の値上げ等を検討するために開催を予定しているかというふうな質問に対して、答え、給食費については極力、保護者の負担を抑えたい。以前給食費を増額した際は、同委員会で検討した経緯があるというふうな答えがあったと思うんですけども、これで一応、町の姿勢としては、給食費の負担は増額しないという方向で考えているというふうに言っているかなというふうに思いましたので、この程度にとどめました。

それから、防災課の負担の方法についての質問、先ほど、大変重要な質問かなというふうには思うんですけども、個別経費は下がっても全体の経費が上がっているようだというところで、社会的な要因もあって、なかなか一概に、必ず下がるというものではないというふうな答えだったかと思うので、ここの部分は、ほかにも4つほどの質問がありまして、4つの中から1点だけ、経費のことについて取り上げようということで、ここはちょっと具体的な内容としてのほうが分かりやすいかなということで一つだけ取り上げました。よろしいでしょうか。

そのほか、報告に対する意見及び内容について。

○7番（須佐 衛君） 意見のところですけども、水道事業会計のところなんですけど、値上げについて避けられない状況であるというようなことが出ておりまして、適切な時期に説明や理解を求めるための取組ということで、これちょっと今の段階で私が感じるのは、まだ時期早尚なのではないかなという気がするんですね。値上げのことについて、議会から提案するというのはどうなのかなというふうに思っています。

新規井戸に関して動力費の資料が提出されましたけれども、新規井戸が運用されてからでも遅くないのかな、予算のところでは付ける意見なのかなというような、決算のところだったらまだちょっと分かるんですけども、新規の浄水場、それもまだちょっと、令和9年という話があったんですけども、もうちょっと先延ばしされるんだろうみたいな話もある中で、今ここで値上げの意見はどうなのかなというふうに個人的に思いました。

○委員長（藤井廣明君） これは全体で討議して、皆さん、こういった意見を付すことでよろしいでしょうかといったときに、全員が異議なしというふうなことで進んだものですから、今ここでまた、それはどうかと言われましても、全体の決定に対する異議みたいなことになりますので、一応これに関しては、町としては大体そういう方向のようだというようなことで、一番最後のページにも、水道事業会計にも、今後、白田浄水場の施設整備費など資金はどのように調達する予定かという中に、企業債の採用も考えているというふうに言っているわけですよ。いずれ値上げは避けられないであろうというのは大勢の方向であって、それについては意見を付したほうがいいのではないかとということで、この前皆さんに諮って、全体の総意で、この意見でいきたいと思いますというふうに決定したものですから、その辺納得していただけないでしょうか。

○7番（須佐 衛君） 実際に文章でこういう形で出てきて、実際問題見たときに、ちょっとまだ早いのではないかなという感想を持ったものですから、今発言させていただきました。

○1番（楠山節雄君） 今の関連ですけれども、委員長言われたように、皆さんの了解をもらって意見として付するよという話もあったし、ここの文面を見ると、適切な時期にというふうなことが明記されていますので、これは適切な時期というのは、須佐委員が心配されたように、今の時点では時期尚早なのかも分からないけれども、そういう判断を最終的にして、住民の理解ももらって行いたいよという意向の内容ですので、私はこのままで特に問題はないというふうに思っていますので、いいではないかと思えます。

○委員長（藤井廣明君） ありがとうございます。

ほかに。

○3番（稲葉義仁君） 大した変わりはないんですけれども、値上げという文字自体がやはり、うーんと思う部分はあるのかもしれないので、もし差し支えないのであれば、値上げというところを、例えば再検討という形にしてみるというのはいかがでしょうか。

（「再検討だとか見直しだとか」の声あり）

○3番（稲葉義仁君） 実質、見直しでもいいと。要は上げる上げない、上げることに對して、上げることが避けられないというよりは、上げる下げをを検討しなければいけない状況にあるというのは確かですよ。そういう意味合いも含めて、そんな形で調整されるのはありかなと思いますが、そこは委員長、副委員長にお任せいたします。

○委員長（藤井廣明君） ありがとうございます。

そうですね。どうですか、副委員長の意見としては。

○副委員長（西塚孝男君） 現状を見ても、水道料金というのは東伊豆町は安くて、他町村を見ても、前から皆さんに報告はいついたと思うんですけども、伊東市とか、そういうのを見ても、値段が違っているなという報告は前から来ていると思うんですよ。そういう意味では、やはり前もって、こういうことがお知らせでしてあるということのほうが大切ではないかなと思うんですよ、濁らすよりは。

○委員長（藤井廣明君） 今、この値上げということについて、あまり早めに言うことに関しては、逆に誘発するようなイメージにもなるからまずいのではないかという意見とか、適切な時期というふうに言っているんであるから早いとかということはないというふうな意見、それから、値上げというふうにストレートに言ってしまうと、やはり町民に対しての不安やら問題等もあるかも分からないし、その辺で、ストレートで言うこともまた、お知らせではない側面もある反面、不安感もあるので、この時期に言うことはどうかというふうに思いますので、水道料金の見直しという形で、料金の見直しといえば、大体値上げだなと察するのではないかと思うので、その辺にしたいと思いますので、よろしいでしょうか。

（「はい」の声あり）

○委員長（藤井廣明君） 皆さん異議がなければ、水道料金の見直しは避けられない状況というふうにして、皆さんの決定どおり、ここは意見を付すということにしたいと思いますが、いかがでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

○委員長（藤井廣明君） 皆さんの了解を得ましたので、水道料金の見直しということは避けられないというふうに文言を、値上げではなく、局長、そののところ。

では、そのようにさせていただきますので、よろしくお願いします。ありがとうございます。

ほか、報告書について、訂正及び追加等ありませんか。

○3番（稲葉義仁君） 5ページ、まず住民福祉課、「保育留学」とありますけれども、これ、正しくは多分「保育園留学」だと思いますので、「園」の追加をお願いいたしますというのと、「株式会社キッチハイク」、「ヒッチハイク」になっておりますが、「キ」になると思います。

ついでに、こういうレベルなので、7ページにいきまして、これちょっと確認ですけども、建設整備課のところで白田川橋の「橋梁掛替」とありますけれども、「掛」って、この場合は「架」かなと。というところと、その上、これ私が質問したところなんですけれども、

同協会の補助金は2万7,000円云々とありますが、ここについては、町の観光協会って結構いろいろな補助金をもらっているんで、補助金の名称をしっかりと、ごめんなさい、今手元に決算書がないんですけども、あれは町観光協会補助金だったかな、とした上で、総額が三千何ぼあったかと思えますので、総額のうち2,743万円うんたらが事務局経費でありという形にさせていただけるとありがたいです。

以上。

○委員長（藤井廣明君） ありがとうございます。

ただいまの訂正について、こちらの至らぬところがありましたので、正しい方向に訂正しておきたいと思います。

それから、観光協会の補助金の件に関しましても、正確な記述の中での事務経費を出したほうがいいのではないかという意見でございましたので、その点もそのように改めたいと思います。

局長、よろしいでしょうか。お願いします。

ほか、訂正及び追加等ありましたらどうぞ。ないようですか。

○7番（須佐 衛君） ちょっと今、語句のところ、私も6ページの観光産業課の2段目、「インバンド」……

○委員長（藤井廣明君） これに関しては、「インバウンド」に訂正させていただきます。

了解です。ありがとうございます。そのように改めます。

ほかに訂正や意見、追加等ありましたら。

（「なし」の声あり）

○委員長（藤井廣明君） なしと認めます。

それでは、別紙のとおり報告することに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○委員長（藤井廣明君） 異議なしと認めます。よって、お手元の委員長報告書のとおり報告することに決定いたしました。

続いて、附帯決議等、何かありますか。

（発言する人なし）

○委員長（藤井廣明君） 附帯決議はないようですね。

それでは、なしと認めます。

ほかに特になければ、以上で本委員会に付託された案件の審議は全て終了しました。

これをもって予算審査特別委員会を閉会したいと思います。御異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○委員長(藤井廣明君) 異議なしと認めます。

これもちまして予算審査特別委員会を閉会します。

皆様、御苦労さまでした。

閉会 午前10時16分